

川越市上下水道事業経営戦略 審議会意見の反映状況等

資料 1

通し番号	審議会回	原案頁	表題等	意見、質問等	反映の修正	審議会での対応等	関係課	原案修正方針
45	3	46	第4章 経営の基本方針 2. 経営の基本的な方向性	【質問】 「②耐震化のさらなる推進」の目標について、上段の重要施設配水管耐震化率は現状と比べて2倍くらい、下段の配水管の耐震化率は、1.5倍くらいになっている理由を教えてくださいとさせていただきます。	無	【回答】 下段の配水管の耐震化率につきましては、今現在20.1%に対して、毎年1.25%ずつ老朽管を更新していくことで、耐震化率を32.6%にするという目標を設定しています。次に重要施設配水管については、今現在15.8%に対して、年間1.42%ずつ重要施設配水管を耐震化していくことで、耐震化率を30.0%にするという目標を設定しています。この数字の高い低いについてはスタート時点で重要施設配水管の方が耐震化率が低くなっているという状況によるものです。	事業計画課	原案どおり
46	3	46	第4章 経営の基本方針 2. 経営の基本的な方向性	【質問】 重要な範囲として、病院や避難所などは、確かに大事だと思いますが、ほかの地域の時はどうなるのでしょうか。合併前の旧市町村のときの避難所等は配慮はされていないのでしょうか。	無	【回答】 基本的には、水を通せる場所の確保を順番にやっていくということですが、それから、各地区に1箇所は、必ず水が出る場所を作るように、順番に整備し、それが終わった後にそれぞれ次に重要なところを設定するという形で動いていきたいと考えています。	事業計画課	原案どおり
47	3	24	第2章 事業の現状と課題 2. 下水道事業 2.2 施設の状況	【質問】 24ページの図2-10に年度別下水道管布設延長とありますが、年度ごとに水道管を布設した距離が違うということで、波がありますが、当然その年度によって古いものが多かったり、少なかったりしたりしますが、管が何でできているのかもよって工事費などが違うと思います。それに基づいて51ページの表5-2建設改良費の内訳が作られていると思います。これらの工事は、各年度にどこを更新するか、青写真として決まっているものなのでしょうか。	無	【回答】 下水道については、ストックマネジメント計画というものがございまして、その中で管の状況を把握しながら、具合が悪いところを順次直していくという考えです。その中で重要な管は5年毎に見ていきますし、期間が30年以上たっている物は7年毎または10年毎という形でしっかり点検していきます。点検結果に基づき修繕等をなるべく平準化させるという考えになりますので、今ストックマネジメント計画で決まっているものは、どの地域をいつどう順番で調査をするのかという状況になります。	事業計画課	原案どおり
48	3	24	第2章 事業の現状と課題 2. 下水道事業 2.2 施設の状況	【質問】 見直しのスパンは、5年毎で大丈夫なんでしょうか。聞きたかったのは、端的にどのような基準で交換作業を行うのかということです。基本的には設備が一定の年数が経過した段階で、交換していくのかなという風に思っていました。今回の資料からは基準が分からなかったのをお聞きしました。	無	【回答】 下水道管は全体で1,000km以上あるような状況ですので、重要な管については5年毎に見ていくという、国からの指針で示されている形で考えています。下水につきましては、当然耐用年数を考慮しますが、状態を見た中で、必要に応じて順次やっていきます。これを状態監視保全と言います。水道につきましては、管の状況を見るができないので、時間経過保全と言いつつ、時間が経過したところで順次行っていく形です。経過年数は、80年を想定してやっていくというような形をとっています。	事業計画課	原案どおり
49	3	-	資料1 投資・財政計画(収支計画)	【質問】 資料1の投資・財政計画(収支計画)について、営業費用の中に経費がありますが、その経費の中に、動力費、修繕費、材料費、その他と記載がありますが、先程56ページの説明の中で動力費、修繕費、受水費、等の説明がありました。前々年度(H30)の経費の内訳では、34億円のうち29億円が「その他」ということになっています。経費の中で、大きな割合を占めていますが、この「その他」というのは、どういったものがあるのか教えてくださいとさせていただきます。	無	【回答】 「その他」の経費の大部分は、埼玉県から水を買っている受水費になります。金額は約20億円になります。	総務企画課	原案どおり
50	3	-	資料3 財源の検討案	【意見】 内部留保資金が少なくなってしまうので、どうしたら適正な水準を維持できるかということ考え方が示されていますが、ほかにもどれだけ市民に影響があるのかということも出して審議をするべきじゃないかと思っておりますがいかがでしょうか。	無	【回答】 料金改定10%した場合、現行料金を踏まえて、一般家庭でどのくらい上がるのか、影響があるのかをお示しできるような資料を次回用意します。 * 第4回審議会にて資料を配布	総務企画課	原案どおり
51	3	54	第5章 1. 水道事業 1.2 財源試算	【質問】 54ページの内部留保資金のところで、災害復旧費として5億円から10億円の幅で取ってありますが、その具体的な積上げについて、何か試算みたいな形があるのでしょうか。	有	【回答】 この5億円から10億円という、災害復旧費は、まさに想定ができない金額で、今回想定したのは、資料2「財源試算の概要」の2枚目の後ろのページに記載していますが、熊本地震の際の水道の被害をもとにしています。川越市では、5億円から10億円あればなんとか、半年くらいはやっていけるのではないかと想定で計上しています。	総務企画課	(修正) 第5章 1. 水道事業 1.2 財源試算 等に追記
52	3	54	第5章 1. 水道事業 1.2 財源試算	熊本の震災の災害復旧費はいくらだったのでしょうか。管の布設距離は、どうでしょうか。	有	【回答】 次回調べてお示しします。 * 第4回審議会にて資料を配布	総務企画課	(修正) 第5章 1. 水道事業 1.2 財源試算 等に追記

川越市上下水道事業経営戦略 審議会意見の反映状況等

資料 1

通し番号	審議会回	原案頁	表題等	意見、質問等	反映の修正	審議会での対応等	関係課	原案修正方針
53	3	56	第5章 1. 水道事業 1.3投資以外の経費の試算	【質問】 県水を買うより、自己水源を使った方が経営的には良くなりますよね。56ページの、動力費のところで自己水源の有効活用のため、令和5年までは、増加を見込んでいて、それ以降は増えないとあるのですが、その辺の考え方というか、自己水源を使っていく方向なのか確認させていただきたいと思います。	無	【回答】 埼玉県との話の中で基本的には県水90%、自己水源10%ということで、昔から約束をしていたのですが、川越市では、41本の井戸を持っており、災害に備えるという面においても、普段から維持管理していますので、県と話をしまして、少し自己水源の比率を高める方向で今県と調整をしています。	事業計画課	原案どおり
54	3	60	第5章 1. 水道事業 1.5水道事業に係る投資・財政計画(収支計画)に未反映の取組や今後検討予定の取組	【質問】 水道の民営化の問題では、経営戦略の中にどのように反映されているのでしょうか。	無	【回答】 民営化の問題につきましては、経営戦略原案の60ページに「民間資金・ノウハウ等の活用」ということで、川越市では既に浄水場の運転管理や水道料金徴収などを民間委託していますので、今後も民間委託できるものは積極的にやってみようと考えています。ただ、国が示しているような全体を民間委託するようなコンセッション方式というのは、現在のところ考えておらず、埼玉県と協力して、広域化の取組みを優先してやってみようと考えています。	総務企画課	原案どおり
55	3	1	第1章 策定に当たって 1. 経営戦略策定の趣旨	【意見】 原案1ページの「経営戦略策定の趣旨」。下から4行目の段落には「を」が3つ入っていて文章として分かりづらいと思い、案を作ってきました。後で確認いただきたいと思います。	有	【回答】 この文章は、主語も抜けておりますので、意見を踏まえまして、検討したいと思います。	総務企画課	(修正) こうした状況を踏まえ、本市では上下水道事業の目指すべき方向性を明らかにし、上下水道局として取り組むべき課題に対する施策等を示した「川越市上下水道ビジョン」を平成31年3月に策定しました。 同ビジョンに掲げる施策等をより実効性のあるものにし、計画的に事業を推進していくため、中長期的な経営の基本計画である「川越市上下水道事業経営戦略」(以下「経営戦略」という。)を策定するものです。 下線部のように修正。
56	3	-	資料3 財源の検討案	【質問】 資料3の「財源の検討案」で重要なことは、収入と費用の見積もりを踏まえて、どのような設備投資をしていくのか、内部留保資金は20億円ではないのか25億円なのか。そのあとに借入れになります。これは、後年度負担になりますので、上下水道局として返済の上限はどのくらいなのか、考えがあればお聞きしたいと思います。	無	【回答】 企業債の残高の上限についてですが、川越市の考え方としては、経営戦略原案の47ページの目標の中で「企業債残高対給水収益比率」が20%以内であればなんとかやっていると想定しております。国の基準等がない中で、今後他市の動向などを注視して適切な基準等があれば、途中でシフトせざるを得ない状況かと思っています。	総務企画課	原案どおり
57	3	60	第5章 1. 水道事業 1.5水道事業に係る投資・財政計画(収支計画)に未反映の取組や今後検討予定の取組	【質問】 スマートメーターについて慎重に検討していくとの記載がありましたが、少し消極的な気がするのですが、表現としては直した方がよいと思いますがいかがでしょうか。	有	【回答】 最新の動向を調査させていただいて、前向きな表現の検討をさせていただきたいと思います。	給水サービス課	(修正) スマートメーターとは、水道使用量を測定し電子データとして遠隔地に送信することができるメーターのことで、検針員のメーターの読み取り作業が不要になることによる人件費や業務負担の軽減だけでなく、家庭での節水の促進等が期待されています。 政令指定都市等では実証試験が行われており、スマートメーターの有効性が挙げられています。今後、実証実験による調査・研究結果や技術開発によるコストの低下に注視し、導入に向け検討していきます。
58	3	54	第5章 1. 水道事業 1.2財源試算	【意見】 今回の資料の議論になっていると思いますが、結局はその内部留保資金の金額で、料金もある程度決まってくるという風な見方ができるのかなと思いますが、内部留保の基準がどうしてこういう風に決まったかというところが改めて確認できないと皆さん納得できていない雰囲気なのかなと思います。そのあたりの資料が次回出てくれば、金額との整合性が出来てくるのかなと思いますので、事務局の方で考えてもらえたらいいのかなと思います。	有	【意見】 * 第4回審議会にて資料を配布	総務企画課	第5章 1. 水道事業 1.2財源試算 等に追記
59	3	54	第5章 1. 水道事業 1.2財源試算	【意見】 この水道料金に関係してくるのは、内部留保資金の確保すべき金額がポイントになってきます。2点目に将来の収入見積、3点目は、設備投資、それで計算して足りない部分を借金という計算となり、企業債の借入額が決まって来ます。企業債は後年度の負担になるため、それほど残高を増やすわけにはいかない。そうすると料金を上げるか、設備投資を減らすかとなる。この4つのファクターをちゃんと説明していただかないと、料金改定というのは難しいと感じます。	有	【意見】 * 第4回審議会にて資料を配布	総務企画課	(修正) 第5章 投資・財政計画以降を全体的に修正
60	3			【意見】 例えば、地震や台風などの、自然災害には危険性があります。こんなことが起こる可能性があります。そのために、維持管理や耐震補強がこれだけ重要です。そしてそのためには、内部留保資金がこれだけ必要ですということを明らかにすることで対外的に説明しやすくなると思います。	有	【意見】	総務企画課	第5章 1. 水道事業 1.1投資試算 等に追記

川越市上下水道事業経営戦略 審議会意見の反映状況等

資料 1

通し番号	審議会回	原案頁	表題等	意見、質問等	反映案の修正	審議会での対応等	関係課	原案修正方針
61	3	-	資料3 財源の検討案	【質問】 今回の財源の検討にしても前提条件として今のアセットマネジメント、ストックマネジメント計画を基にということがあったかと思いますが、そもそもこの計画を考えるとときには、財源ありきで考えたのかそれとも、必要性ありきで考えたのか、ウェイト、論点をどこに置いて考えたのか、まず確認をさせてください。	無	【回答】 基本的には必要性に重きを置いています。今の状態をしっかりと把握した上で今後どのようにやっていくのかというのを検討していく中で財源を見ていくという形になっています。	事業計画課	原案どおり
62	3	-	資料3 財源の検討案	【質問】 例えば下水道で有収率の話があったかと思いますが、70%台ということで大変低くなっていると伺いました。この有収率が100%の時と比較した場合の年間のロスは何のくらいになりますでしょうか。	無	【回答】 100%の場合と比較するとロスは、年間4億2千万円程度だと記憶しています。	事業計画課	原案どおり
63	3	-	資料3 財源の検討案	【質問】 4億2千万円という金額が毎年ロスとして出ているということですが、どのくらいのスパンでこういうものをどのように解消していくのかというのを書いてあるのが、アセットマネジメントであったり、ストックマネジメントだということでしょうか。	無	【回答】 上下水道ビジョンの方ではしっかり目標を決めまして、有収率を10年間で80%までもっていきたいという目標となっています。この80%というのは全国平均値になります。有収率を100%にするのは非常に難しいことだと認識しておりまして、10%上げる目標でも本気でやらないと難しいレベルだと考えております。	事業計画課	原案どおり
64	3	56	第5章 1. 水道事業 1. 3投資以外の経費の試算	【質問】 BCP(業務継続計画)について、「定期的な見直し」という記載がありますが、定期的とはどの程度のスパンをお考えでしょうか。地震で被災した市では、BCPがほぼ役に立たなかったという話があったので、川越市も、すぐに見直すべきところがあるのではないかと思いますのでお伺いします。	無	【回答】 BCPについては、基本的に毎年少しずつ、気が付いた所を直しているというレベルで、大きな見直しについては現在決まっていない状況です。	事業計画課	原案どおり
65	3	-	資料3 財源の検討案	【質問】 例えば水道料金の値上げはするけど、これだけ財源の負担を考えると、逆に下水道使用料は下げるといった調整ができる可能性はありますか。	無	【回答】 資料1の3枚目で下水道事業の収益的収支の部分を見ていただきたいのですが、当年度純利益は、令和5年度や6年度は、約2,700~2,800万円程度しか利益が得られない状況となっています。これで料金値下げをすると原価を割ってしまう形になってしまいますのでちょっと難しいかと思えます。	総務企画課	原案どおり
66	3	60	第5章 1. 水道事業 1. 5水道事業に係る投資・財政計画(収支計画)に未反映の取組や今後検討予定の取組	【質問】 今後の取組みの関係で「防災対策の充実」がありますが、特に耐震化の関係は、配水管についてもいえると思いますが、防災拠点や重要施設以外に、一般住宅というか住宅地での耐震化等も含まれるのか、主要施設を優先的に進めていくところに留まるのか、どのようなイメージでしょうか。	無	【回答】 下水道の耐震化については、国道・県道の緊急輸送道路の通行の確保を優先的にやっています。国道16号、254号を重点的にやっております。その後、県道の緊急輸送道路に指定された場所をやる予定です。その次のステップとしては、災害拠点の所をやりたいと考えています。今のところそこまでの考え方で、各個人のお宅ということにつきましては、将来的な話になりますが、老朽化更新をしていく中で、耐震性の高い管を使うことにより対応していければと考えております。	事業計画課	原案どおり